

■プロジェクト名

コーヒーかすの再資源化に係る実証プロジェクト

■事業者名

Value way 株式会社、九州旅客鉄道株式会社、株式会社エニキャリア、NPO 法人循環生活研究所、株式会社セブン-イレブン・ジャパン、一般社団法人 Regenerative Coffee 協会



■実証実験の概要

○解決したい社会課題(背景・目的など)

国内有数のコーヒー消費地である福岡市内では、1 日約 5.2t(261 万杯分)のコーヒーかすが出ているが、その多くが一般廃棄物として処理されている。一部は消臭剤や肥料等として活用されているものの、消費量に見合ったものとなっていない。そこで、コーヒーかすを炭化し、新たな資源として活用することにより、ごみの減量と資源循環を推進するため、本実証実験を実施した。

○実証実験の内容

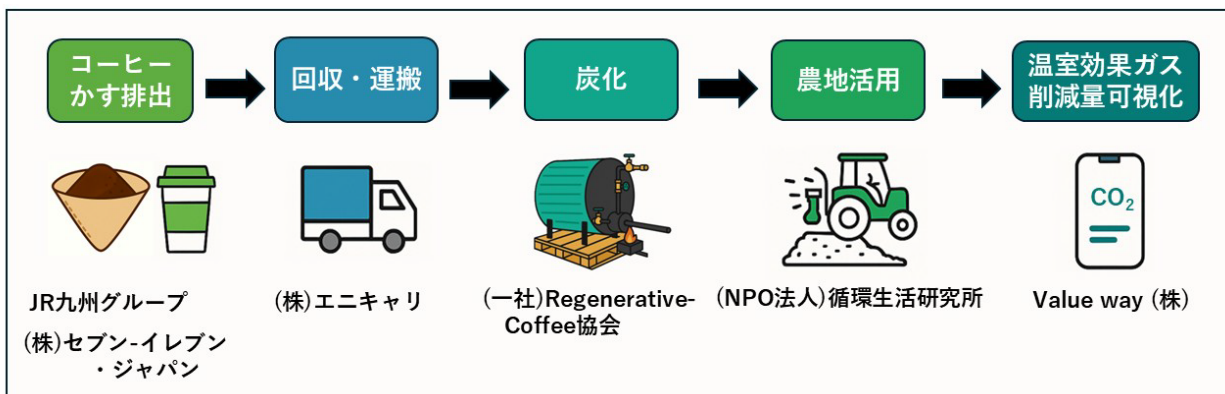
実証実験期間:令和7年12月17日~令和8年3月31日

実証フィールド:

福岡市内のセブン・イレブン及びJR九州グループのコンビニ(計9店舗)、クリーンパーク・東部、三苦LFCコミュニティガーデン

実証内容:コンビニから排出されるコーヒーかすを回収し、乾燥・炭化を行い、土壌改良材として農地で活用することで、新たな資源循環モデルの実現可能性を検証した。

実施フロー:



■実証実験の結果

① バイオ炭の製造と活用

コンビニから排出されたコーヒーかす 93.6kg から、バイオ炭 3.3kgが製造できた。バイオ炭は、土壌改良材として農地に散布したのち、作物の育成実験を実施し、十分な効果を発揮するかを確認している。

また、炭化の副産物として土壌改良や害虫予防に活用できる木酢液 4.3kg が得られた。

② 温室効果ガス排出量の算定・可視化

・今回の実証実験において廃棄処分せず活用したことによる CO2 削減量 : 5.8kg

・全国のコンビニ店舗から出たコーヒーかすを活用した場合の CO2 推計削減量 : 6.3 億 kg/年

③ 廃棄物処理費用の削減:1,710 円(収集運搬費 450 円、処分料 1,260 円)

【今後の展開】

・回収量が増えた場合の活用先や事業採算性の確保を検討していく。

■問い合わせ先

Value way 株式会社 メールアドレス:hello@valueway.me